

JA全農杯チビリンピック2014小学生8人制サッカー大阪府大会(U-10) 細則

- キックオフからの得点 キックオフから直接相手側のゴールに入った場合、相手側にゴールキックが与えられる。
- PK方式 勝者を決定する必要がある場合、両チーム3名ずつの競技者がキックを行なったのち、両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、交互に順序を変えることなく、キックは続けられる。
GKを交代させる場合、競技者8人から行う。またFPのサブユニホームでのGKは可能だが、GKになる選手の背番号かメンバー表に記載していない背番号で行うことが出来るものとする。ただし、速やかに始められるものとする。(ベンチに用意していること)
- 審判について 事前に割り当てられた審判を不履行の場合、規律委員会の処分を受ける。
新規及び昇級等で審判証が手元にない場合は、審判委員会の押印のある合格(証)通知と顔写真つきの本人確認できるものを提示すること。
服装は、正規の審判服を着用のこと。(ハーフパンツ・サッカーパンツは認めない)
主審及び予備審判は、試合開始前にお互いが打ち合わせ等の準備に努めること。
予備審判を割り当てられた審判員は、「8人制競技規則」にある補助審判の役割を参考にする。また、本部役員協力のもとスムーズなベンチコントロールを行う。
- ユニフォームについて 両チーム同色や区別がつきにくい場合、大会本部にて事前調整を行い、両チーム立会いのもとに決定する。また、大会本部はユニフォーム各2組のうちから、判別しやすい組合せを決定し、主審が確認を行う。
GKがFPとして出場する場合、又は、逆の場合の背番号は固有番号で有れば、必ずしも一致しなくともよい。(正副の番号は一致しなくともよい)
GK及びFPのビブス着用は認めない。
- テクニカルエリア エリア内には指導者と交代要員の座席部分が設置される。
その都度ただ1人の指導者のみが戦術的指示を与えることができる。
エリア内では責任ある態度で行動する限り、戦術的指示を行った後であっても、ベンチに戻る必要はない。
- 競技者の交代手続 (FPの場合)
交代によって退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
フィールドにはいる選手は、交代ゾーンからフィールドに入る。
インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず交代できる。
主審の承認は必要ない。(GKの交代は除く)
但し、総入れ替え制の為、第1、第2ピリオドは予備審判のチェックを受け、第3ピリオドでの交代は予備審判の用具チェックのみ受けることとする。
(GKの場合)
ボールがアウトオブプレーになった時、主審に通知し、主審の許可を得て交代を行う。
退くGKは、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
代わりに入るGKは、交代ゾーンからフィールドに入る。
- 選手証不携帯について 選手証を不携帯の選手の出場は認めない。
チームとして不携帯の場合は棄権とする。
- 移籍について 本大会期間中の移籍に関しては移籍もとのチームで本大会に出場した者に関しては移籍先のチームにおいてその出場を認めない。
- 負傷者について 負傷者については各チームで処置等を施すこと。
主催者、主管者は一切の責任を負わない。
- 規律委員会処分について 参加チーム関係者が会場責任者の指示に従わない場合
レギュレーション違反があった場合
極めて悪質なプレーがあった場合

上記の場合、規律委員会にて処分を決定する。処分を受けたチームは決定を遵守すること。